

令和2年度卒業式送辞

送辞

日差しの中に春の気配が感じられるこの季節に、晴れて和歌山高専を卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

桜が咲き誇る中、希望を胸にこの和歌山高専の門をくぐられてから、早や5年の歳月が経とうとしています。5年間、振り返ってみると、この高専で過ごしたかけがえのない日々が昨日のことのよう、頭に浮かんでくるのではないのでしょうか。

我々在校生は、数多くの場面で先輩方に助けられてきました。部活動では私たちを引っ張ってくださり、勉強や寮生活では数多くの面でお世話になりました。本当にありがとうございました。先輩方から学んだことは、私たちにとって大切な財産であり、しっかりと後輩たちに受け継いでいこうと思います。

今、卒業生の皆様は、未来への希望や期待を胸に、新たな道への第一歩を踏み出そうとされています。しかしながら、その道は決して平坦ではないことでしょう。新しい環境に不安になったり、壁にぶつかることが必ずあると思います。しかし先輩方ならば、これまでの高専生活で培ってきた、何事にも全力で取り組み、目標に向かって努力する力を生かし、必ず困難を乗り越えていけると私たちは信じています。

どうか、自分の選んだ道に自信を持ち、それぞれの場所で、自分の輝く場所を築いてください。これから輝かしい未来に向かって進まれる先輩方を私たちは心より応援しています。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康と、さらなるご発展を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和3年 3月18日 在校生代表 平 詩園